

## 歩行車と車いすの間を埋める新型歩行器の開発

カナヤマシナリー(金沢大学)／富山県産業技術研究開発センター／富山デザインセンター



### 【研究開発の概要】

高齢化で足腰の衰えが進むと車いすを利用するようになり、筋力が弱くなる傾向がある。これを解消する新製品として、新しい歩行器「三輪歩行器」を試作した。（三輪歩行器は、金沢大学 柴田克之教授（金沢大学 保健学域）の発案による。）

三輪歩行器は、座面に腰掛け、ハンドルを両手で握り身体を安定させ、足全体を動かし移動する。この様な動作が車いすと異なり、残存能力の活用となり筋力低下の防止になる。富山総合デザインセンターと富山県産業技術研究開発センター生活工学研究所の協力を仰ぎ、デザイン開発と各種計測を実施した。

### 【研究成果】

#### 【デザインの変遷】



初期試作



デザインセンター提案  
ラフデザイン図

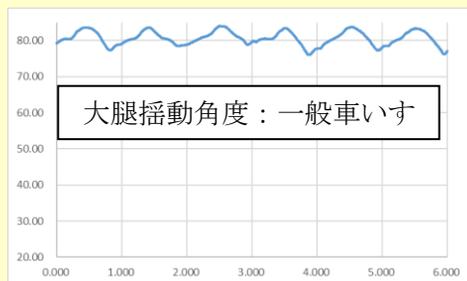
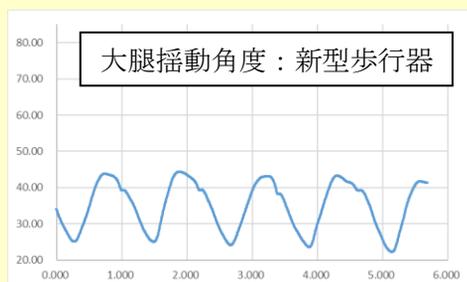


試作その1



改良型  
と  
電動型

#### 【生活工学研究所での各種計測】



新型歩行器は大腿部の運動範囲が大きいことが実証できた。